



Information インフォメーション



2022年度 事業支援委員会ボランティア大募集

あなたも支援会ボランティアになりませんか

横浜いのちの電話の電話相談活動を資金面で支える、支援会ボランティアには、手作りの品の製作に励むバザー部会と、映画やコンサートの企画立案をする催し物部会があります。両部会とも、仲間と楽しみながら自分のできることで社会貢献できるのが喜びになっています。どうぞご参加ください。

応募資格：バザー部会・催し物部会とも特に設けておりません。

興味のある方は、事業支援会事務担当までお問合せください。

社会福祉法人 横浜いのちの電話 問合せ先 / 事務局 045-333-6163

バザー部会 只今手作り品製作中



催し物部会 イベントの企画会議



寄付のお願い

眠らぬダイヤルとして24時間体制で電話相談を続けていくためには、運営資金が必要です。維持会員または賛助会員になって資金面でご協力、ご支援ください。

●維持会員

(毎年一定額を援助してくださる方)

個人 年間1口
3,000円 5,000円 10,000円
法人・団体 年間1口
10,000円 (何口でも可)

●賛助会員

(随時、任意の額を援助してくださる方)

●遺贈について
ご遺産や相続された遺産を横浜いのちの電話のために寄附したいとのお申し出が増えて来ています。感謝です。手続きなどのご相談は事務局までご連絡ください。なお、ご寄附に対しては相続税法上の優遇措置（寄附金控除）が受けれます。

編集後記

こんなに勉強しながら作った広報誌はなかったかもしれません。ほんのわずかかもしれないけど、自分も電話相談などで貢献できていると考えると、生きるのがちょっとだけ楽になるような気がします。（D.T）

※ 法人は損金算入、個人は寄附金控除があり、税法上の優遇措置の対象となります。

※会員の方には広報誌、事業報告、公開講座、映画会等のお知らせをお送りします。維持会員の方には5年ごとに映画会への無料ご招待があります。

●振込先

郵便振込：00240-3-15191

銀行振込：三井住友銀行横浜駅前支店
普通 口座番号 9367360

口座名：社会福祉法人 横浜いのちの電話

※銀行振込の場合は、ご住所をお知らせください。
領収書をお送りいたします。☎045-333-6163

毎月10日は フリーダイヤル

なやみ こころ
0120-783-556

毎月10日 8:00～翌日8:00

24時間・無料です

あなたがつらいとき、近くにいます。
ひとりで悩まないで、こころの苦しみをお話ください。

自殺予防 いのちの電話です

神奈川県共同募金会からの配分金

本広報紙は、共同募金配分金により製作しました。



社会福祉法人 横浜いのちの電話
秋の催し

世界と日本の名曲で巡る音楽紀行 “音密”ヴォーカル・ユニット♪ 『音 meets フレンズ♪』



チケット発売開始日：7月13日

●日時 2022年10月28日(金)
18:30開演 (17:45開場)

●会場 横浜関内ホール(大)
前売券 3,500円 当日券 4,000円
全席自由 未就学児入場不可
会館のガイドラインに基づき感染症対策を実施しています

●お問い合わせ

横浜いのちの電話事務局
TEL. 045-333-6163
FAX. 045-332-5683

ひとりぼっちで
悩まずに…

だれかと話したいとき こころ寂しいとき

横浜いのちの電話相談

045-335-4343 (24時間体制)

外国語 電話相談

●ポルトガル語
0120-66-2488 045-336-2488

●スペイン語
0120-66-2477 045-336-2477

相談時間 水 10時～21時
金 19時～21時
土 12時～21時

<https://www.yind.jp/>

ひとりで 悩まないで

横浜いのちの電話

広報103号
2022.5.10

社会福祉法人 横浜いのちの電話

事務局 ☎240-8691 日本郵便保土ヶ谷支店私書箱32号 TEL. 045-333-6163

発行人 松橋 秀之 横浜いのちの電話広報委員会 (D.T/N.S/N.O/T.N)

制作 KP+SD

新型コロナウイルス対策のため
電話相談を適宜閉鎖する場合があります



SDGsと私たち ～小さな取り組みから～

最近よく聞くSDGsという言葉。

なんとなく環境問題のような話だと思っている方や、自分にはあまり関係ないのかな?という認識の方も多いと思います。

世界は今、人類がこれまで成し遂げたことのないSDGsという大きな目標に向かって一歩ずつ前に進んでいます。

我々の活動である電話相談もそのなかのひとつなのです。
一緒に「70億分の1人」の貢献を、考えてみませんか?



持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs と横浜いのちの電話

SDGsは「誰一人取り残さない 持続可能でよりよい社会の実現を目指す 世界共通の目標」です。今回は、SDGsといのちの電話の関わりについて考えてみました。

私たちの横浜いのちの電話は「孤独の中にあって精神的に救いと励ましを求めている一人ひとりと電話で対話をすること」を目的としており、SDGsの3番目「すべての人に健康と福祉を」の課題を担っていると考えています。

電話では、自死を考える人をはじめ、精神的身体的な病気、HIV、新型コロナウィルスに関する事等、「いのち」や「幸せ（福祉）」に係る様々な相談が寄せられます。貧困、差別、孤独、生き方、人間関係など、大変な状況にある人たちの想いが電話を通して語られ、その実態を感じています。これらはすべて、SDGsの各目標の根拠となっている課題です。電話をくださった人の状況が少しでも良くなり、よりよい生活、幸せ（福祉）につながることを切に願います。また、電話を通じて語られた社会の課題を、社会に発信していくことも私たちの大切な役割と考えます。私たちの活動が、SDGsの

各目標の達成のための一つの働きになれば、と思いながら活動しています。

横浜いのちの電話は、「いつでも、どこからでも、誰からでも」の精神を大切にしつつ、「誰一人取り残さない」ように少しでも多くの電話を受けていくことが求められています。これに応えるためにも、私たちの活動自体も「持続可能」であり、「共に成長し、他者を思いやり、環境を大切にする取り組み」を行っていかなければならぬと改めて感じました。

原稿を書いている今、戦争が多くの人たちの命を奪い、傷つけ、自然が破壊され、心がとても痛みます。また新型コロナウィルスの感染再拡大もあり、多くの人が不安な日々を過ごしています。そんな中ですが、SDGsの目標を達成するための「小さな一つひとつの取り組み」が、世界の平和を実現していくこと信じています。これから生まれてくる子どもたちのためにも、平和でよりよい世界を用意できるように、小さな取り組みを継続したいと思います。

(松橋秀之／横浜いのちの電話 理事長)



SDGs 成立の経緯



- 2001年に制定された「MDGs（ミレニアム開発目標）」の後継として、2015年に採択された「持続可能な開発目標」がSDGsです
- 元となったMDGsは「世界で絶対的貧困に生きる人の数を半減させる」等の8つの目標が掲げられていました
- MDGs成立当時、その達成を疑問視する反応もありましたが、たった15年で人類は世界の貧困を半減することに成功
- MDGsの成功を受けた新たな課題「誰一人として置き去りにしない」を、先進国を含めた世界で追求すべき目標として誕生したのがSDGs
- コロナ禍や戦争などでいくつかの目標は2030年のゴールに間に合わない可能性があるが、数年遅れでも達成すべき現実的な目標です

「自分だけ平穏な暮らしをして 申し訳ないなあ」と思っていたら

温暖化により、世界の永久凍土が融けてきた。凍土からは、CO₂の25倍の温室効果があるメタンガスが放出され、温暖化を加速させる。気候変動や海面上昇が暴走状態に突入しないように、パリ協定では+1.5°C(産業革命前比)が目標設定された。しかし、すでに+1°Cと報告されている。¹⁾

永久凍土には氷河期を生きた動植物の遺体や、その分解を担う微生物も閉じ込められている。シベリアのサハ共和国では、凍土から露出したマンモスの発掘が産業となっている。マンモスの歯は高級ハンコの材料として、中国や日本にも輸出される。

私が心配なのは、新型コロナ以上に害を及ぼす微生物も目を覚ますことだ。²⁾ 2016年シベリアの凍土から露出したトナカイの死体から、炭疽（たんそ）菌が拡散して2000頭以上のトナカイに感染し、12歳の少年が亡くなった。永久凍土は日本にもある。

そうは言っても「気持ちのゆとり」が持てないと、未来に目は向かない。「気持ちのゆとり」「平穏な日常」は大切だ。世界は繋がっている。SDGsの根っこも繋がっていると思う。自分を総点検してみたら「吾唯足知（ワレタダタルヲシル）」にたどり着いた。それは我慢ではなく幸せな事、ひと手間かかるけれど豊かな時間だと気がついた。「自分だけ平穏な暮らしをして申し訳ないなあ」と思っている場合ではなくなってきた。

(相談員 N.O / 女)

1) IPCC 特別報告書 1.5°Cの地球温暖化 2018/10

2) 藤井一至 永久凍土に眠るウイルスと感染症のリスク
2021/11/08 日経ビジネス

今からでも遅くない

「SDGsという言葉を聞いたことがある人」76%、そのうち60%が関心を持っている。一方で、「SGDsに特に取り組むことは考えていない」が48%。2021年12月の朝日新聞による調査結果です。今回の原稿依頼を受ける前までは私も48%の1人でした。そこで色々なSDGsの情報を見て、自治体や企業、学びの場でSDGsの様々な取り組みや理解が進んでいることに気がつきました。

「17のゴール」はどれも有機的に繋がっていて重要な項目ですが、③健康と福祉 ①貧困が私には関心が高い項目です。医療から取り残されやすい人々や生活困窮者は様々な苦悩を抱えやすい傾向があります。私はいのちの電話の活動を通じて、そのような弱い立場の人の心の支えになりたいと改めて思いました。

また、⑬⑭⑮の気候変動、環境問題も、自分事として考えなければいけないと思います。マイバッグ、マイボトルを持参して、ごみの排出を減らすなど小さな行動を積み重ねたいとも思います。SDGsを理解して、ゴールに向かう個人の行動は「今からでも遅くない」と思います。そして、その先によりよい社会が実現できると前向きに考えています。最後に「誰一人取り残さない」は、私の心に深くしみる言葉です。

(相談員 T.N / 男)

